

共生・協働の 地域社会づくり

NPO法人 徳之島虹の会
TEL 0997(86) 3575

島の宝を、地域へ、未来へ伝えたい

NPO法人徳之島虹の会は、伊仙町を拠点に徳之島島内を活動の舞台にしています。会の名称は、島の方言で仲間を意味する「ニジ」と、地域や人々との架け橋になりたいという意味で「虹」という字をかけています。

「徳之島でも、地域のつながりは年々希薄になってきています。また、島の自然や文化を知らない世代も増えてきています。島の宝である自然、文化を地域へ、未来へ伝える、それが私たちの活動の基本です。島のことを知ってもらうためには、まず自分たちが知らなければなりません」と語るのは事務局長の美延睦美さん。

活動分野は、環境保護やまちづくり、文化伝承、青少年育成と幅広く、平成24年度の活動数は100回を超えています。伊仙町が実施している学童保育の放課後わくわくクラブや親子チャレンジ教室の講師も務め、洞窟探検やまち歩き、採集した野草を使った料理教室も開催しています。その他にも、エコツアーリズム推進協議会のメンバーとして、セミナーの講師やコースの選定、ツアーガイドも行っています。



井之川岳登山道清掃大作戦の様子

また、これまで徳之島の歴史や文化を紹介した本は多数出版されていますが、自然について書かれた本がなかったため、徳之島の多種多様な生物を取り上げ、徳之島内外の方々に徳之島の豊かな自然を知っていただくとともに、子どもたちへの環境教育の教材や観光ガイドブックとしても役に立つような本づくりに取り組んでいます。

最近では、奄美群島の世界自然遺産登録に向けた活動にも積極的に関わり、稀少野生動物植物保護パトロールを実施しているほか、環境省が実施するアマミノクロウサギの生態調査や大学の調査にも協力しています。島民の環境に関する意識を高めるために、地域の公民館などでミニセミナーも開催しています。

今年3月には、徳之島の至宝であり、世界自然遺産登録の有力な候補地である井之川岳(標高645メートル)の登山道清掃大作戦を実施しました。徳之島3町の役場をはじめ、多くの方々の協力を得て、軽トラック10台分のゴミを回収しました。このように、徳之島虹の会ではさまざまな団体や多くの住民と協働した



島の自然を学ぶエコツアー

取り組みを展開し、活動の輪を広げています。

「最近では、私たちの活動が島の方々にも認知されてきたのを実感しています。島外から転勤で来られた方にも会員になっていただいています」とも語る美延さん。

大学の先生が調査で来島される機会を活用して、学校で公開授業を開催するなど、島の魅力を島外の方が伝える活動にも積極的に取り組んでいます。

今年には、奄美群島日本復帰60周年という節目の年でもあることから、会員は島の将来についてこれまでも増して熱く語り合っており、今後の徳之島虹の会の更なる飛躍が期待されます。

「島のことを知るのとはとても楽しいこと。毎回、新しい発見と感動があります。この楽しみを他の人にも伝えたいです」。まずは、自分たちが楽しむこと。これが徳之島虹の会の活動の原動力なのかもしれません。



放課後わくわくクラブの1コマ。

代表者からひとこと



事務局長の美延 睦美さん

島のことを知ることはとても楽しく、その楽しみを周りにも伝えたい、そういう思いで活動しています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286) 2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221) 6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。